

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 大阪瓦斯株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 9532 URL <http://www.osakagas.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 尾崎 裕

問合せ先責任者 (役職名) 財務部連結管理チームマネジャー (氏名) 福嶋 幸太郎

TEL 06-6205-4537

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	930,611	—	3,861	—	5,610	—	743	—
20年3月期第3四半期	840,792	3.0	53,178	△7.2	56,363	△5.0	33,692	△6.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	0.34	—
20年3月期第3四半期	15.19	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,525,338	603,806	38.0	269.18
20年3月期	1,467,934	666,657	44.2	300.76

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 580,201百万円 20年3月期 648,592百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
21年3月期	—	3.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,335,000	7.8	52,000	△31.2	51,500	△32.1	28,000	△30.5	12.99

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 2,158,383,539株	20年3月期 2,158,383,539株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 2,913,008株	20年3月期 1,864,399株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期 2,156,086,329株	20年3月期第3四半期 2,224,650,354株

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(参考) 個別業績予想  
 平成 21 年 3 月期の個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	985,000	12.2	27,000	△36.8	27,000	△46.2	17,000	△48.2	7.89

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の売上高については、大阪ガス個別で原料費調整制度によって都市ガスの販売単価が前年同期に比べて高めに推移したことや、連結子会社の売上が増加したことなどにより、前年同期に比べ898億円増の9,306億円となりました。営業利益については、大阪ガス個別で原料費が上昇し前年同期に比べて減益となった影響等により、前年同期に比べて493億円減の38億円となりました。また、経常利益については、前年同期に比べて507億円減の56億円、法人税などを反映した当第3四半期の純利益は329億円減の7億円となりました。

なお、大阪ガス個別の経営成績については、参考情報(4)四半期個別経営成績等の概況に記載しています。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、1兆5,253億円となり、前期末と比較して574億円の増加となりました。これは原油高や季節要因などにより、たな卸資産が397億円増加したことなどによるものです。

なお、純資産は6,038億円となり、自己資本比率は38.0%となりました。

#### 【連結キャッシュ・フロー】

当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前期末と比較し304億円増加し696億円となりましたが、その主な内訳は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益56億円や減価償却費637億円がありましたが、たな卸資産の増加などにより、当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは28億円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

ガス導管などの供給設備をはじめとする有形固定資産の取得のため716億円支出したことなどにより、当第3四半期に投資活動に使用した資金は792億円となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

社債の発行により900億円の調達を行ったことなどにより、当第3四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは1,076億円の調達となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 21 年 3 月期の業績予想について、最近の業績動向等を踏まえた結果、変動が生ずることとなったため予想を修正します。これは、1 月以降の原油価格・為替レートの前提を見直すことや、ガス販売量が前回予想を下回る見通しであること等によるものです。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. たな卸資産の評価方法

当第 3 四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっています。また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっています。

##### 2. 税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、主として当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

##### 2. 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更（たな卸資産）

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によりましたが、第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算出しています。これによる損益に与える影響はありません。

##### 3. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第 1 四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第 18 号 平成 18 年 5 月 17 日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。これによる損益に与える影響はありません。

##### 4. 「リース取引に関する会計基準」の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第 13 号（平成 5 年 6 月 17 日（企業会計審議会第一部会）、平成 19 年 3 月 30 日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 16 号（平成 6 年 1 月 18 日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成 19 年 3 月 30 日改正））が平成 20 年 4 月 1 日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第 1 四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。これによる損益に与える影響は軽微です。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	95,296	99,196
供給設備	324,278	338,232
業務設備	63,937	64,196
その他の設備	233,385	242,027
休止設備	—	1,532
建設仮勘定	85,453	72,320
有形固定資産合計	802,352	817,506
無形固定資産	37,820	44,974
投資その他の資産		
投資有価証券	153,102	144,765
その他	112,372	130,556
投資その他の資産合計	265,474	275,321
固定資産合計	1,105,648	1,137,802
流動資産		
現金及び預金	67,285	41,457
受取手形及び売掛金（純額）	132,048	144,916
たな卸資産	105,073	65,334
その他	115,283	78,423
流動資産合計	419,689	330,131
資産合計	1,525,338	1,467,934

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>固定負債</b>		
社債	261,967	193,164
長期借入金	248,811	219,806
引当金	16,536	14,290
その他	33,747	34,538
<b>固定負債合計</b>	<b>561,062</b>	<b>461,800</b>
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	73,477	74,697
短期借入金	51,789	40,263
未払法人税等	7,481	22,166
その他	227,721	202,349
<b>流動負債合計</b>	<b>360,469</b>	<b>339,476</b>
<b>負債合計</b>	<b>921,532</b>	<b>801,276</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	132,166	132,166
資本剰余金	19,482	19,482
利益剰余金	424,363	439,226
自己株式	△1,199	△806
<b>株主資本合計</b>	<b>574,813</b>	<b>590,069</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	18,431	31,790
繰延ヘッジ損益	△14,868	12,628
土地再評価差額金	△103	83
為替換算調整勘定	1,928	14,020
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>5,388</b>	<b>58,523</b>
少数株主持分	23,604	18,065
<b>純資産合計</b>	<b>603,806</b>	<b>666,657</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,525,338</b>	<b>1,467,934</b>

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	930,611
売上原価	683,834
売上総利益	246,777
供給販売費及び一般管理費	242,916
営業利益	3,861
営業外収益	
受取利息	1,254
受取配当金	2,187
持分法による投資利益	6,337
雑収入	5,776
営業外収益合計	15,556
営業外費用	
支払利息	7,752
雑支出	6,053
営業外費用合計	13,806
経常利益	5,610
税金等調整前四半期純利益	5,610
法人税等	2,242
少数株主利益	2,624
四半期純利益	743

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,610
減価償却費	63,736
長期前払費用償却額	4,683
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△4,490
持分法による投資損益 (△は益)	△6,337
売上債権の増減額 (△は増加)	16,753
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,427
未払費用の増減額 (△は減少)	△14,636
法人税等の支払額	△21,199
その他	△1,821
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△71,671
長期前払費用の取得による支出	△5,731
関係会社株式の取得による支出	△4,360
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	6,682
その他	△4,214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11,582
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	25,000
長期借入れによる収入	39,959
長期借入金の返済による支出	△13,189
社債の発行による収入	90,000
社債の償還による支出	△30,675
配当金の支払額	△14,183
その他	△811
財務活動によるキャッシュ・フロー	107,680
現金及び現金同等物に係る換算差額	△819
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	30,438
現金及び現金同等物の期首残高	39,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,682

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当ありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

当第 3 四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	ガス	L P G・電力・ その他エネルギー	器具及び ガス工事	不動産	その他	計	消去又 は全社	連結
売 上 高	551,235	193,145	101,385	23,920	116,070	985,758	(55,146)	930,611
営 業 利 益	△16,528	5,520	2,409	6,159	5,565	3,125	735	3,861

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当ありません。

(7) その他

原料購入価格の一部については、調達先との契約更改・価格交渉の動向によって、精算が発生することがあります。

## 【参考情報】

## (1) 前年同四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期累計 (H19/4~H19/12)
売上高	840,792
売上原価	554,524
売上総利益	286,268
供給販売費及び一般管理費	233,089
営業利益	53,178
営業外収益	
受取利息	1,113
受取配当金	1,754
投資有価証券売却益	2,985
持分法による投資利益	3,964
雑収入	2,965
営業外収益合計	12,784
営業外費用	
支払利息	7,319
雑支出	2,280
営業外費用合計	9,599
経常利益	56,363
税金等調整前四半期純利益	56,363
法人税等	21,205
少数株主利益	1,465
四半期純利益	33,692

## (2) 前年同四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (H19/4～H19/12)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	56,363
減価償却費	70,373
前払年金費用の増(△)減額	△10,023
たな卸資産の増(△)減額	△30,528
仕入債務の増減(△)額	7,375
未払費用の増減(△)額	△26,327
その他	△34,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,227
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産等の取得による支出	△71,668
無形固定資産の取得による支出	△9,240
長期前払費用の支出	△5,963
投資有価証券の取得による支出	△3,024
投資有価証券の売却等による収入	3,716
子会社・関連会社株式の売却による収入	2,976
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,960
その他	△1,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,536
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
社債、借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減(△)額	106,279
自己株式の取得による支出	△18,704
配当金の支払額	△14,504
その他	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	72,968
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	15
V. 現金及び現金同等物の増減額	17,675
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	24,476
VII. 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	△52
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	42,100

(3) 前年同四半期セグメント情報

前年同四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	ガス	LPG・電力・ その他エネルギー	器具及び ガス工事	不動産	その他	計	消去又は は全社	連結
売上高	482,955	184,766	104,002	18,640	99,469	889,833	(49,041)	840,792
営業利益	25,752	12,578	3,422	5,396	5,346	52,496	682	53,178

## (4) 四半期個別経営成績等の概況（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

（単位：億円）

収益			対前年 同四半期 増減	率(%)	費用			対前年 同四半期 増減	率(%)
製品売上	ガス売上	5,448	672	14.1%	営業費	売上原価	3,664	1,029	39.1%
						販管費	1,982	70	3.7%
						計	5,647	1,100	24.2%
その他 売上	受注工事	180	5	3.0%	その他 費用	受注工事	179	0	0.5%
	器具販売	652	△ 26	△ 4.0%		器具販売	636	△ 12	△ 1.9%
	託送供給収益等	26	2	11.6%					
	附帯事業	352	60	20.7%		附帯事業	369	88	31.6%
	計	1,210	41	3.6%		計	1,184	77	7.0%
総売上高		6,659	713	12.0%	総費用		6,832	1,177	20.8%
					営業利益		△ 172	△ 463	-
営業外収益		99	△ 1	△ 1.4%	営業外費用		101	49	95.1%
					経常利益		△ 174	△ 514	-
					四半期純利益		△ 112	△ 332	-

四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象となりません。四半期個別財務諸表は四半期財務諸表等規則に基づいて作成しています。

## (5) 四半期個別ガス販売実績

		当四半期 (a) (H20/4～H20/12)	前年同四半期 (b) (H19/4～H19/12)	増減値 (a)-(b)	増減率 (%)
お客さま数 (取付メーター数) (千件)	家庭用	6,592	6,528	+64	+1.0
	業務用	326	324	+3	+0.8
	計	6,918	6,852	+66	+1.0
家庭用 1 戸当たり 平均月間使用量 (m <sup>3</sup> /月)		25.7	26.3	△0.5	△2.1
ガス 販売 (百万m <sup>3</sup> )	家庭用	1,338	1,360	△22	△1.6
	業務用	4,415	4,531	△116	△2.6
	工業用	3,242	3,311	△69	△2.1
	商業用	740	773	△33	△4.3
	公用・医療用	433	447	△14	△3.1
	他ガス 事業者向け	326	332	△6	△1.7
計		6,079	6,222	△144	△2.3

[45MJ/m<sup>3</sup>表示]